



油の流出事故に注意！

冬になると灯油を使う機会が増えるため、河川への油流出事故が多発します。その原因の多くが不注意で起こる人的ミスによるものです。

事故を起こすと油の処理回収に費用がかかり、その費用は**事故を起こした原因者が負担**することになります。

また、油が川に流れると油は分解・中和できないため、生態系や田んぼの作物への影響、上水道の取水停止など多方面に多大な影響を及ぼします。

灯油などを扱うときは十分注意してください。



▲ オイルフェンスを設置している様子。下流への油の拡散を防止するため、オイルフェンスを設置し、回収する必要があります。

油断大敵！油事故を防ぐ4つのポイント

① その場を離れない

ホームタンクなどから油を小分けするときには、絶対にその場を離れない。

② 配管の場所には目印を

除雪による配管の破損を防ぐために目印を立てておく。万一来るに備え、防油堤を設置しておく安心！

③ 落雪に注意！

屋根からの落雪による配管の破損・脱落やホームタンクの転倒に注意。

④ タンクや配管の定期点検

配管やホームタンクを定期的に点検する。



油を流出させてしまった場合や水路等に油膜を発見した場合は、速やかにお近くの**消防署・警察署・市町村役場・山形県・国土交通省等**へご連絡ください。